

タイトル	投稿者	いつ頃	思い出	場所	補足・追加情報	参考文献	受付日	利用条件	区名	年代	分野
三立製菓	昭和31(1956)年生まれ	昭和30年代後半-40年代	八鶴神社の秋祭に鶴野東から地車4台を連れて、西鶴野にあった三立製菓へ毎年行っていました。工場内に地車4台を並べればし休憩。祝儀として自社製品の「カンパン」を1斗缶でもらったので、鶴野東に帰ってから、カンパンをハワイのポキッに入りきらないほどたくさんもらいました。でも西鶴野往復はしんどかったです。	西鶴野(三立製菓はその後浜松に移転しました)	城東区鶴野西には「カンパン」等の商品がよく知られている三立製菓の大坂営業所が今もあります。昭和19(1944)年に出版された『近世菓子飴業史』によると、三立製菓の設立にも関わった中村氷糖という会社の分工場内にて、昭和2(1927)年にビスケット工場の運転を開始したとの記事が確認できます。昭和35(1960)年の住宅地図を確認すると、現在の大阪営業所よりも広い敷地に同社の工場があったことが確認できます。(2024年8月10日 城東図書館)	国立国会図書館デジタルコレクション『近世菓子飴業史 第4巻』松本重/著 帝国菓子飴公論社 1944 https://dl.ndl.go.jp/pid/1065362 (2024年8月10日確認)『大阪市全商工住宅案内図帳 城東区-北部-【昭和35年】』【吉田地図】【2006】タイトルコード 1000011167549 (1960年の複製)	2021/8/21	CC BY-SA	城東区	3.昭和30年-40年代(1955-1974)	
国鉄・鶴野駅の踏切	昭和31(1956)年生まれ	昭和36(1961)、37(1962)年の頃	祖母が私の手を引いて、5歳下のいとこの女の子をおんぶして「チリンチリン」(踏切の音)を現に行こ。」と言って電車の踏切通過を見に連れて行ってくれたことをよく覚えています。いとこは電車が通るたびに「きゃっきゃっ」と声を出して喜んでいました。	片町線と現在の今里筋との交差点	JR鶴野駅は現在高架駅となっていますが、『城東区史』に高架化される前の駅付近の様子を写した写真が掲載されています。鶴野駅は昭和8(1933)年9月1日に新設された駅で、高架駅となったのは昭和39(1964)年11月のことであつたと、同書には記されています。(2024年8月12日 城東図書館)	『城東区史』木村 武夫/編集 城東区史編集委員会 1974 タイトルコード 1000000246500	2021/8/21	CC BY-SA	城東区	3.昭和30年-40年代(1955-1974)	鉄道
阿倍野区役所	昭和16(1941)年生まれ	昭和31(1956)年~昭和33(1958)年ごろ、高校生の頃の記憶です。	昭和31(1956)年2月下旬、高校入試の出願手続きに要する『住民票の写し』を交付して貰おうと、阿倍野区役所に一人で行きました。木造2階建てのくすんだ建物でした。区役所の中はモコモコとしており臭が見えないほどでした。恐らくタバコの煙のためか石炭ストーブの煙のせいだろうと、推察します。近所のお年寄りから「あれは元、住吉区役所だった」といしばしば聞かれました。それは府立阿倍野高等学校の直ぐ南、現在、阪南中公園と呼ばれる小公園の地にありました。現在の、阿倍野区役所がある所(文の里一丁目・工芸高等学校の北側)は、元、地下鉄の車庫でした。御堂筋線が楠田~天王寺間のみで営業していた頃の車庫で、西田辺まで延長された後、長い車庫が新造されて移転しました。その跡地に阿倍野区役所が移ったのです。確か、私の高等学校時代(1956-58年)であつたと記憶しています。	阪南中公園(府立阿倍野高等学校の南)、文の里一丁目(工芸高等学校の北側・現在の阿倍野区役所)	阿倍野区は昭和18(1943)年4月1日大阪市が22区制をとる際に、住吉区が阿倍野区・住吉区・東住吉区に分区され、発足しました。庁舎は昭和3(1928)年に建てられた旧住吉区役所庁舎(阪南町中二丁目47【現在の住所: 阪南町一丁目49】)をそのまま引き継ぎました。『阿倍野区50年のあゆみ』には旧庁舎の写真が掲載されています。昭和33(1958)年に発行された『最新地番入阿倍野区詳細図(大阪市区分地図)』では、府立阿倍野高等学校の南に当時の庁舎の位置を確認することができます。戦後になり長い年月を経て老朽化した旧庁舎は、人口の増加により十分な市民へのサービスが行えなくなったことから、昭和40(1965)年5月に地下鉄の阿倍野検車場・高速車両工場があった跡地(文の里1丁目)へ移転、現在の新庁舎が建設されました。地下鉄の阿倍野検車場・高速車両工場は昭和22(1947)年12月に建設されたものですが、保有車両の増加に伴い、昭和29(1954)年12月住吉区長居町の長居検車場が建設され移転しました。『大阪市地下鉄建設70年のあゆみ-発展を支えた建設技術-』には、阿倍野検車場・高速車両工場の写真が掲載されています。(2024年8月26日 阿倍野図書館)	『阿倍野区史』川端 直正/編 阿倍野区区域編入三十周年記念事業委員会 1956 タイトルコード 1000000244908 p.1、295-298『阿倍野区50年のあゆみ』阿倍野区制50周年記念事業実行委員会 1993.4 タイトルコード 1000000336413 p.56、76-77『最新地番入阿倍野区詳細図(大阪市区分地図)』和泉路屋 1958.9(修正) タイトルコード 1000011203603	2023/12/8	CC BY-SA	阿倍野区	3.昭和30年-40年代(1955-1974)	公園 鉄道
住吉団地内のスーパーとパン屋	昭和17(1952)年もしくは昭和18(1953)年生	平成26(2014)年	団地の中にスーパーがありますが、その一角に焼きたてのパン屋さんがあり、45~6年ほどされていました。時代の流れなのか、今年(2014年)4月の末に閉店されました。残念です。	住吉団地	近商ストア住吉店は、住吉団地のなか、国道26号線に面する形で建っているスーパーマーケットで、『近商ストア20年のあゆみ』に、「昭和44(1969)年3月21日、当社初の食料品、日用雑貨、衣料品等を総合した大型スーパーマーケット住吉店を大阪市住吉区(現在住之江区)粉浜の国道26号線沿いに開設した」とあります。また、同書には「当社におけるファーストフードは昭和46年7月住吉店に開店したインスタパークが第1号店である」と言う記述があります。平成25(2013)年の住宅地図ではスーパーマーケットKINSHO住吉店の1階に「プチ・ジャンポール住吉店」という名前のパン屋さんがあり、さらにさかのぼると平成8(1996)年の住宅地図にも「パン プチジャンポール」の名前が確認できます(店名は住宅地図の表記のママです)。なお、日本住宅公団住吉第1団地の入居開始は昭和43(1968年)年3月です。(2024年9月11日 住之江図書館)	『近商ストア20年のあゆみ』近商ストア 1977 タイトルコード 1000080283082 p.57-58、p.80『ゼンリン住宅地図大阪住之江区【2013】』ゼンリン 2013 タイトルコード 1000012818409 p.29、別記p32『ゼンリン住宅地図大阪住之江区【1996】』ゼンリン 1995 タイトルコード 1000000528757 p.29『日本住宅公団20年史』日本住宅公団20年史刊行委員会/編 日本住宅公団 1975 タイトルコード 1000080164140 p.364	2014/6/13	CC BY-SA	住之江区	5.平成(1989-2019)	
にしこう(新北島西公園)の滑り台	平成19(2007)年もしくは平成20(2008)年生		にしこうでよく遊びます。おさらで遊びます。(図書館注:「にしこう」は新北島西公園のことを指します。「おさら」とは大きな滑り台の愛称です。)	新北島西公園	「にしこう」と新北島西公園は、昭和50(1975)年4月に開園した広さ11,998平方メートルの近隣公園です。住宅地図を確認すると、新北島7丁目3に「新北島西公園」と記載があります。北島地区では昭和44(1969)年3月に決定された事業計画に基づき、土地区画整理事業が行われました。当時、地区東南部の新北島7丁目付近は、住宅が密集していました。また、市営住宅や小中学校の建設も予定されており、新北島西公園はそのような周辺環境に対応するため、新北島東公園、新北島南公園とともに整備されました。『輝く明日のまちづくりをー北島』には、公園が整備されるまでの大阪市都市計画北島土地区画整理事業の詳細が掲載されています。また、同書には、新北島西公園の写真が掲載されており、「おさら」のように見える大きな滑り台が設置されているのが確認できます。(2024年11月12日 住之江図書館)	『住之江区史』大阪都市協会/編集 住之江区制十周年記念事業実行委員会 1985 タイトルコード 1000000253225 p.161-170、p.194『輝く明日のまちづくりを-北島:北島土地区画整理事業の歩み』大阪市都市整備協会/編集 大阪市建設局 1990 タイトルコード 1000000481172 p.91-93、p.102『ゼンリン住宅地図大阪住之江区【2014】』ゼンリン 2014 タイトルコード 1000013160829 地図32、38「大阪市ホームページ」【大阪市都市公園一覧表】 https://www.city.osaka.la.jp/kensetsu/page/0000372135.html (2024年11月7日確認)	2014/7/6	CC BY-SA	住之江区	5.平成(1989-2019)	公園